

## 都市計画自転車駐車場事業認可及び調布駅前広場の事業進捗状況に関する説明会 質疑概要

### 開催概要

- 【日 時】 平成28年6月8日（水）19時～20時45分  
【場 所】 調布市文化会館たづくり2階くすのきホール  
【参加者】 60人

### 質疑応答

- Q. 新しく整備する自転車駐車場の料金体系はどのようになるのか。  
A. 料金設定は、月ぎめ・日ぎめと条例で規定している。課金時間の見直し、無料時間帯の導入などについても準備を進めている。
- Q. 地下駐輪場の整備費はいくらになるのか。  
A. 撤去を含めた総事業費は概算で約19億円程度である。
- Q. 全て市の負担なのか。また市の負担額はいくら程度か。  
A. 市の負担ができる限り軽減できる方向で考えており、国の補助、都の補助を活用することで、具体的にいくら位という試算は出来ていないが、市負担が概ね総事業費の4分の1ぐらいで済むような形で検討している。
- Q. 調布市立調布南第1自転車駐車場の稼働状況は。  
A. 2段式のラックが設置された月ぎめ専用の施設であり、2段目には空きがある状況である。
- Q. 調布駅北第1自転車駐車場の運営主体と稼働状況は。  
A. 自転車駐車場整備センターが運営しており、階層によって使用率、契約率に差がある。低層階は満車だが、上層階は一部にまだ空きがある状況である。
- Q. 新しくできる自転車駐車場の料金は高くした方がよいのではないか。  
A. 料金に関しては駅からの距離により、使いやすさが違うので近い所は高く、離れた所は安くといった料金改定の手続を進めている。
- Q. 昨年、上布田連合会で説明を受けた際には、樹木診断をして移植可能な樹木は移植をすると聞いていたが、全て切るという方針になったのはなぜか。  
A. 移植の可否について、地元と意見交換してきた。「そのままの位置で残したい」、「まずは本来交通広場がもつべき機能を確保し、その他樹木、イベント広場を整備すべき」などの意見があった。それらを踏まえ、樹木を残すのが将来の駅広にどのような影響をあたえるか、安全面や費用など総合的に勘案して原則撤去と考えている。
- Q. タコ公園の概ねの閉園時期と新しい公園の開設時期はいつか。また、公園を利用して

いる園児の遊ぶ場所など確保してほしい。

- A. 代替の公園は京王線が地下化された相模原線上部に整備する。平成 30 年度に整備を行うため、設計を平成 29 年度に行う。市内の保育園に公園の利用状況の実態調査を行う予定である。保育園とは意見交換しながら検討を進めていく
- Q. 不足する収容台数をどのように確保するのか。
- A. 現在、調布駅周辺の自転車駐車場は、無料の施設を含めると台数的には必要量を満たしており、どこかの駐輪場にとめられる状況である。今後、無料時間帯の料金設定を導入するなどして、放置自転車の削減に取り組んでまいりたい。
- Q. 樹木保全についてお願いをしてきたが、なぜ樹木撤去の方針となったのか。また、樹木の撤去が必要な駅広形状とした最終設計者は誰なのか。
- A. 樹木撤去の方針となった理由については、先ほどの質疑でお答えしており、重複となることから割愛させていただく。設計者は基本的には市となり、基本コンセプトは安藤忠雄氏に監修を依頼している。駅広は交通広場であり、公共交通を担うものであるため周辺の渋滞への配慮や公共交通の結節機能を確保し、円滑な乗り換えができ、かつ安全であることを前提とし、現在の形状になっている。  
これからの意見交換の場で樹木保全等の意見を伺いながら詳細な設計を検討していきたい。
- Q. 調布市立調布南自転車駐車場の代替施設はどのように考えているのか。鉄道敷地上部自転車駐車場はいつどこにできるのか。
- A. 既存の自転車駐車場の定期利用者は、既に調布南第 1 自転車駐車場に移っていただいている。日ぎめで利用されている方は、一時空いている施設の利用をお願いする。また、調布駅周辺の鉄道上部の自転車駐車場の整備については、相模原線上部を今年度整備（約 400 台）し、その他 2 ヶ所の自転車駐車場（西地区約 300 台、東地区約 700 台）は次年度整備する計画である。
- Q. 樹木を伐採、譲渡するとのことだが、接ぎ木や挿し木としてもらうことは可能か。また、公園に関するアンケートを第一小学校でも行ってほしい。
- A. 接ぎ木対応については、可能な限り対応していきたい。工事との調整もあるため、個別に相談をお願いしたい。公園に関するアンケートについては、アンケート内容が保育園と異なるかと思うので、事前に学校と調整し相談をしていきたい。
- Q. 平成 35 年度整備予定の広場中心部分について、鉄道上部の商業施設も完成し人の流れが多くなるのに最後に整備する理由は。また、駅周辺の道路整備（市道南 26 号線等）の全体を示して欲しい。
- A. 工事は既存ロータリーを生かして、次のロータリーへの切り替えスペースを作りながら行っていくため、工事車両の動線などを勘案すると、広場の中心部を最後に整備せざるを得ないと考えている。  
市道南 26 号線については、事業着手し、現在、用地取得を進めている。用地買収の

大半が終わっている。整備完了時期については明確に出来ないが、駅前広場整備と併せて整備していきたいと考えている。

- Q. 将来の駅広イベント空間の利用について、どのように運用していくか。また、音楽イベントの規制についてどう考えているか。
- A. にぎわいの創出をするようイベント空間を整備していきたいと考えている。現在、将来のイベント利用に関するルールはまだ決まっていない。整備後の駅広は道路として扱うため、これまでと違った制限がかかるかと思われるが、道路空間の利用について、国家戦略特区等の利用も含め自由度が高い広場空間の整備に向け検討中である。
- Q. 市道南 30 号線を一方通行のまま、市道南 26 号線を通行止めとすると布田 4 丁目周辺の道路に車の流入が懸念される。なぜ市道南 30 号線を相互通行としないのか。
- A. 交通管理者と協議調整をしてきた。将来の歩行者、通行状況を勘案し、現在の一方通行の形で協議が整っており、現在の計画で整備をしたいと考えている。地元意見を勘案し、より安全な通行ができるよう、警察にもご意見を伝えていきたいと思う。
- Q. 交通広場の機能を考え、樹木を伐採する方針が出されているが、調布のシンボルである駅広の樹木をすべて撤去するのではなく、1 本でも残すことはできないのか。
- A. タコ公園の 8 本は、多摩川市民広場に移植し、将来的な活用を検討している。また、将来の駅広には新しい樹木を植樹する予定である。
- Q. 6/7 に樹木保存について、署名を街づくり事業課に提出した。市民の意思を勘案して、保存に向けて検討をお願いしたい。
- A. 署名については、市長に届けている。自転車駐車場の整備範囲はご容赦いただくが、南側ロータリーはオリンピック・パラリンピック以後の工事のため、すぐに工事の支障とならない樹木については、少し時間があると認識している。今後、工事条件と市民の思いの共通認識を確認し、なんらかの対策がないか市民と話し合いをさせていただきたいと考えている。
- Q. 緑豊かな調布のシンボルである、駅前の樹木をできるだけ残してほしい。
- A. 老木もあるので安全面にも配慮する必要がある、新しく植樹も必要だが、既存樹木の活用について今後検討していく。
- Q. 駅広の設計は基本的に市が行っているとのことだが、数年前、コンペの結果安藤忠雄氏が設計者として選ばれたが、具体的に何を設計しているのか。また、設計費用は発生しているのか。
- A. 設計は委託発注しており、当初は安藤事務所が受託。現在は、安藤氏の円形をつなぐイメージを継承し実際の設計について個別に相談をしている。市が主体的に考え、協力を依頼している形をとっている。当初のコンセプトを作成する際には、委託料を払っているが、現在は払っていない。
- Q. 資料にある将来の交番イメージが駅広上屋の円のイメージとなじまないように感じる。実際はどのような形になるのか。また、以前は上屋の中に交番があり、公共施設

棟も当初より小さくなっているがどのような経緯か。

- A. 警察には駅前広場全体のコンセプトを伝える際に、交番も円のイメージになるようにお願いしている。また、公共施設棟については、駅広整備に当たり、既存交番が支障となるため、警察などと調整をしたところ、整備時期や費用面などを勘案し、交番を公共施設棟外に建築することになったことから、規模を縮小している。詳細な検討は少し先の時期になるが引き続き進めていく。